29　　聖人のすばらしさ 　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　限定形

「松　柏　　。」松　柏　　　也。　㆓衆　㆒ ㆑ 　耳。　ⅰ　皆　㆑　　㆑　、㆑　　而　　㆑　。松　柏　　㆑ 　、新　葉　　、　　旧　葉　黄　。今　南　　花　木、ⅱ㆑ 　 　　㆑ 　　皆　　也。 、聖　　 　 ㆑　。

【本文チェック】

①傍線部を書き下し文にし、（　）に書きなさい。

（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

②波線部ⅰ・ⅱを現代語訳し、〔　〕に書きなさい。

ⅰ〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

ⅱ〔　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　〕

【語彙力✚】＊〔数字〕はノート本冊での本文の行数を表す。

問１　次の語句の読みを現代仮名遣いで答えよ。

１　独〔３〕（　　　　　り）

２　既〔３〕（　　　　　に）

３　而〔４〕（　　　　　る）

４　苟〔５〕（　　　　くも）

問２　次の語句の意味として最も適当なものを選べ。

１　凡〔２〕　ア　これまでに　　イ　総じて

ウ　すべて　　　　エ　もはや

（　　　）

２　如㆑ 此〔６〕　ア　どうしようもない　　イ　このようだ

ウ　こうに違いない　　　エ　こういうわけだ

（　　　）

【文法力 ✚】

問３　次の各文について、現代語訳を参考にして書き下し文の（　）を補え。ただし、送り仮名を省いたところがある。

１　独　有㆓ ㆑ 　㆑ 　 。

　　（　　　）夜に因りて火を以て虜を攻むる（　　　　　　）。

　　（ただ夜に紛れて火で敵を攻めるだけだ。）

２　前　　㆑ 　耳。

　　前言は之に戯れし（　　　）。

　　（さっきの言葉は冗談にすぎない。）

３　唯　　　爾。

　　（　　　　）手の熟せる（　　　）。

　　（ただ手が熟練しているだけだ。）

問４　次の文について、現代語訳の（　）を補え。

　㆓ 百　㆒ 耳。

（　　　）百歩逃げたのでは（　　　　　　　　　）。

問５　次の文を書き下し文に改め、現代語訳せよ。

１　　 人　　㆒。＊人語＝人の話し声。

書き下し文（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

現代語訳　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

２　　㆔ 　㆓ 名　㆒ 而　已。＊書＝文字。

書き下し文（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

現代語訳　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

３　　王　　不㆑ 。＊肯＝承知する。

書き下し文（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

現代語訳　（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）

【探究】表現してみよう

問６　あなたは、どのような人でありたいと思うか。比喩を用いて「○○が□□であるように、△△な人」の形で説明しよう。

〔

〕

【解答】

【本文チェック】

①　松柏未だ嘗て凋まずんばあらざるなり。

②　ⅰ＝木というものはみな冬になると葉を落とし、春になると新しい葉を出すものである。

　　ⅱ＝葉をかえない性質のあるものはみなそうである。

問１　１＝ひと　２＝すで　３＝しか　４＝いやし

問２　１＝イ　２＝イ

問３　１＝独り・有るのみ　２＝のみ　３＝唯だ・のみ

問４　ただ・ないだけだ

問５　１　書き下し文＝但だ人語の響きを聞くのみ。

　　　　　現代語訳＝ただ人の話し声（の音）が聞こえるだけだ。

　　　２　書き下し文＝書は以て名姓を記すに足るのみ。

　　　　　現代語訳＝文字は姓名を書くだけで十分だ。

　　　３　書き下し文＝独り王昭のみ肯ぜず。

　　　　　現代語訳＝ただ王昭だけが承知しなかった。

問６　観点　自分が目指す人間性と、それを的確に表した比喩との両方が書けていること。

【書き下し文】

問４　直だ百歩ならざるのみ。